

|        |     |     |        |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間   | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期     | 1   | 2   | 必修     |
| 担当教員   |     |     |        |
| 小倉 嘉夫  |     |     |        |
| 金4、5   |     |     |        |
| 添付ファイル |     |     |        |
|        |     |     |        |

|        |   |
|--------|---|
| 科目の概要  | <p>大阪青山大学の『建学の精神』（『学生便覧』p3）の重要事項「わが国の文化と伝統に基づいた感性、知性、倫理性及び創造性を備える」ことを目的とした科目である。日本の歴史や伝統文化を多面的に学ぶ。古く日本の都であった奈良・京都、及び大阪を含むこの近畿地方は、長らく日本の政治・文化の中心であった。現在でも、至る所で貴重な遺跡や文化財、伝統文化に触れることができる。それを基礎とし、日本の歴史や文化について、時代の流れに沿いつつ具体的に紹介する。特にこの北摂地域についても詳しく識る。そして日本の暦とそれともなう年中行事、神社や寺院の祭礼、料理や和菓子などの食文化、日本の芸能、上方芸能等、日本の文化をあらゆる角度から見る。スライドやビデオなどの映像資料も多用する予定である。また、大学付属の大阪青山歴史文学博物館はそのための格好の教材であるが、所蔵される美術品を紹介しつつ、本学の教育方針である「本物に触れる教育」を実践したい。日本文化に造詣深い、教養ある真の国際人とはどうあるべきかを学ぶ。</p>  |
| 授業の内容  | <p>第1回 ガイダンス<br/>伝統文化を学ぶ意義</p> <p>第2回 日本の歴史と文化<br/>日本の歴史と文化の流れを概観</p> <p>第3回 北摂地域の歴史と文化<br/>我々の学びの地、箕面と川西の歴史と文化</p> <p>第4回 日本の暦と年中行事①<br/>月の満ち欠けと暦</p> <p>第5回 日本の暦と年中行事②<br/>旧暦から新暦へ</p> <p>第6回 日本の暦と年中行事③<br/>五節句とは</p> <p>第7回 日本の暦と年中行事④<br/>日本の春・夏の行事</p> <p>第8回 日本の暦と年中行事⑤<br/>日本の秋・冬の行事</p> <p>第9回 日本の芸道<br/>「道」の文化</p> <p>第10回 日本の芸能<br/>上方文化と江戸文化</p> <p>第11回 日本の食文化<br/>伝統料理と和菓子の文化</p> <p>第12回 大阪青山学園と建学の精神<br/>本物に触れて学ぶこと</p> <p>第13回 大阪青山学園と伝統文化①<br/>国宝『土佐日記』と重要文化財</p> <p>第14回 大阪青山学園と伝統文化②<br/>博物館の美術品</p> <p>第15回 まとめ<br/>自国の文化を理解すること、真の国際人とは。</p> <p>以上の内容を全15回で学びます。順番は必ずしも上記の通りではありません。</p> <p>定期試験。</p> |
| 学習到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪青山大学の建学の精神及び教育目標を理解する（知識・理解）</li> <li>・日本文化の歴史の変遷やこんにちの在りようについて関心を持ち、知識を深める（知識・関心・理解）</li> <li>・日本の文化や伝統について深く考え、知り得たことを今後の生活の中で判断し、生かそうとする（思考・判断・意欲）</li> <li>・各回の授業で学んだことを指示に応じて適切に文章などで表現することができる（技能・表現）</li> </ul>  |
| 授業の方法  | <p>【授業形態】 講義。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p>   |

|                           |   |
|---------------------------|---|
|                           | <b>【その他特記事項】</b>  |
| 成績評価の方法                   | <b>【評価項目】</b><br><b>【割合】</b><br>授業ごとに簡単に考えを文章にまとめてもらいます。それを含めて平常点がおおむね30%。<br>前期レポートが70%。 |
| 教科書・テキスト                  | プリント資料を配付します。   |
| 参考書                       | 適宜、授業中に紹介します。   |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | 博物館や美術館、寺社の祭礼や遺跡などに積極的に足を運んで下さい。  |
| 履修上の留意事項                  | 日本文化全般に関心を持って下さい。   |
| オフィスアワー                   | 火曜日1・2限、及び金曜日2・3限（2号館7階 研究室）<br>それ以外は北摂キャンパス博物館（TEL 072-790-3535）                         |
| 課題に対するフィードバックの方法          | 必要に応じて指示します。  |
| 実務経験                      |   |
| その他                       |   |